

# 第 26 号

ボランティアの輪を広げよう  
— 発 行 —

糸魚川市ボランティアセンター  
糸魚川市ボランティア  
連絡協議会  
(糸魚川市社会福祉協議会内)  
新潟県糸魚川市寺町4-3-1  
TEL (025) 552-7700  
FAX (025) 553-1657

# 糸魚川市 ボランティアだより

## 第13回

# ボランティアフェスティバル

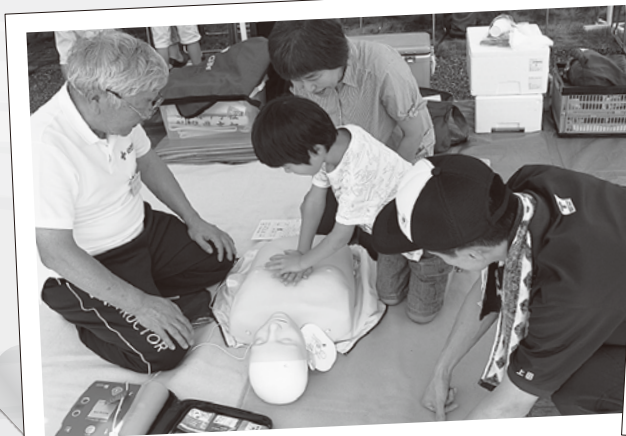
令和元年 8月24日(土) 会場 ビーチホールまがたま



うまくまわったね!



いいね、おばさんも食べたいわ



最初はこわごわ。その調子



ぼくにもちょうだい!

## 息もぴったり おいしいかき氷

傾聴ボランティアいとでんわ 後藤たかね

今年のボランティアフェスティバルは、不安定な天気予報に反してキラキラの太陽のもと、8月24日ビーチホールまがたまにて行われました。ふれあい広場では、24時間テレビのチャリティ募金や各ボランティア団体の模擬店、体験コーナーなどが設けられ、大勢の方々に来て頂きました。



今年は、私たち傾聴ボランティアとぐりーんバスケットさんとで、かき氷コーナーを初めて担当させていただきました。ぐりーんバスケットさんとは、ここ数年一緒に売場を担当させていただいていた事もあり、初めてのかき氷担当ではありましたが、息もぴったりでおいしいかき氷をスムーズに作る事ができました。種類はイチゴ、メロン、ブルーハワイ、コーラ。一番人気はもちろんイチゴ、あっという間に売り切れ、その後の暑さも手伝って予定より早く氷が終了しました。小さいお子さんの「どの色にしようかなあ」と考えるかわいいう仕草や、暑い中ボランティアに参加された方たちから「冷たくておいしいね」という言葉が聞かれ、作っている私たちもうれしい気持ちになりました。そして、ボランティア活動の時にも感じる事ではありますが、笑顔と笑顔のバトンを渡せたとき、本当にやってよかったなと思わせてくれる瞬間でもありました。

今回の活動を通して、何気ない人との会話や人を思いやる気持ちから笑顔が生まれ、笑顔の輪が広がるボランティア活動の喜びを実感する事ができました。

そして、ボランティア活動が次の世代に受け継がれていく事を願い、小さな活動を続けていきたいと感じることのできた一日でした。

## ボランティアフェスティバルに参加して

第3地区民生委員児童委員協議会 伊井 芳枝

第3地区民児協は、暮らしの中のおり紙と昔遊びのコーナーを担当しました。第3地区民児協の女性部は、毎月1回横澤会長の指導のもと、いろいろなおり紙に挑戦してきました。

今回誰にでも折れるものという事で、小さな箱と箸袋を折ってもらう事にしました。男性軍は、昔遊びのメンコやコマの担当で、2時間程の間に130名以上の人達が来て下さいました。親子で参加が多かったように思います。普段小さな子ども達と触れ合う事の少ない私は、子ども達の箱が上手にできた時の笑顔を見ると、こちらまで嬉しくなって、箱の中に入れてあげる飴は2個しか入らないけど、つい1・2個おまけしてしまいました。

大勢の人達と触れ合えるこの場は、民生委員の私達にとって、とても大切な場だと思います。いろいろなボランティア団体の皆さんが心一つにして、来られた皆さんに喜んでもらいたいと、朝早くから頑張ってい

る姿は、とても気持ちの良いものだと思います。

記念講演の陽 信孝先生のお話も共感できる所がたくさんあり、一口に介護と言ってもやさしさが一番だと言われた先生の言葉が胸に浸みました。

福祉行政も少しでも弱者にやさしい行政であってほしいと心から願っております。私達民生委員も陽先生の言葉を胸に、やさしくありたいものと思っております。



## スノードームづくり

糸魚川地区更生保護女性会 加藤 洋子

「あのね、ボク達のはさっき作ったんだけど、パパとママにも作ってあげたいんだ。」と、可愛い兄弟がおとうさんと一緒に。

作業は簡単です。好きな動物のオブジェを選びます。オブジェを瓶のふたの中側に立て、ボンドで留めます。(グルーガンという小さいピストル型でコンセントに差すと熱をもち、引き金を押すと差したボンドが溶けて出ます。熱いので持ち方に気を付けましょう。)

次に、瓶の中に水でもどしたカラフルなポヨポヨボール数個とキラキララメを入れ、糊3対水1で合わせた液体を瓶の口まで注ぎ、オブジェを張ったふたをします。瓶の口の回りを水が染みないように、好みの模様のテープでぐるりと留めます。

さあ、瓶を逆さに置いてみましょう。キラキララメとポヨポヨボールの中に、可愛いワンワンが(私が犬で作りました)!! 「ありがとう。ママに喜んでもらえるね。仲よく飾ってね。」兄弟と側で見守っていたおとうさんのやさしさが伝わって、私もやさしい気持ちになれた「スノードームづくり」でした。

毎年このフェスティバルに参加させていただくと楽しみなことがあります。同級生がボランティアとして色々な役割に携っていて、1年に1回、ここで会える友。「元気だった?」「また、来年、会おうね」

もうひとつは、ひまわり作業所で作られた「ちょこっとタオル」です。一枚のタオルを三つに切り、縁を手作りした可愛いテープで留めてあります。私は細かい手作業で作られたこの小さなタオルが大好きで便利で重宝しています。

みなさんの誠意が伝わる楽しいボランティアフェスティバルでした。



## 災害時に役立つグッズ作り

糸魚川市赤十字奉仕団 五十嵐洋子

年度が平成から令和に変わり、酷暑の中、ボランティアフェスティバルが開催されました。

奉仕団も、災害時に備えた防災・減災活動を進め、市町村が行う防災訓練にも積極的に参加しています。



災害時の炊き出し訓練を始め、AEDを使っでの救急法の講習にも積極的に参加し、地域の人達に赤十字奉仕団の理解を深めていただき、活動の充実を図りながら、社会福祉協議会とも連携を深め、活動しています。災害時に率先して動ける奉仕員の高齢化や、新規団員の確保が難しくなっています。私達も魅力ある奉仕団にして、一人でも多くの団員を増やすべく頑張っております。

そこで今回は、災害時にすぐ役立つグッズを2点、紹介させて頂きました。

1点目は、新聞紙やチラシで作る多目的カップです。お皿にもなり、両はしを輪ゴムでしげれば、マスクにもなる優れものです。2点目は、大きなゴミ袋の活用法で、数ヶ所切り込みを入れて作る雨合羽です。防寒にも役立ち、どれも好評でした。

日赤奉仕団は、地域の人達と交流を深め、一人一人が責任ある行動と愛のある活動を目指し、団員一同頑張っています。

奉仕団に参加してみませんか!!

## 私たちの活動紹介

### 能生ライオンズクラブ

会長 磯貝 喜作

ライオンズクラブ国際協会（本部アメリカ・シカゴ）の下に全世界200以上の国と地域でクラブ数4万8298、会員数142万9665人（7月31日現在）と言う大変大きな組織で、日々それぞれのクラブが活動しています。ロータリークラブから独立し、ライオンズクラブ国際協会の発足にあたり、かのヘレンケラー女史は壇上に立ち「ライオンズは弱い立場の人、特に盲人の杖となってほしい」と訴えたそう



小泊漁港周辺での清掃活動

です。このことにより今でも目の不自由な人たちに頼りとされている「白杖」を考案し、実行に移したことが活動の第一歩だったそうです。

さて、能生ライオンズクラブは平成5年4月17日に結成され、昨年は結成25周年記念式典を大勢の皆さんに祝福いただき挙行することができました。

記念事業では、能生地区ボランティア連絡協議会への支援、マリンドリーム能生に建てられている交通安全標語看板の刷新、上南地域への桜の苗木の贈呈を行いました。

結成後から、海洋高校卒業生の皆さんに会員手作りの卒業証書用額縁の贈呈、能生地域内保育園へのクリスマスサンタプレゼント訪問、能生地区ボランティア連絡協議会への支援などを継続的に行ってきました。

このような事業を行うための資金は、全てが皆さんから参加していただいている「アンコウを食する会」などの収益金で賄われています。会員が汗をかき、皆さんの善意を誰かの役に立ててもらふ橋渡し役として、今後も少しでも皆さんのお力になれるよう楽しく頑張っております。

### 青海たんぽぽの会

会長 西山 忍

私たち青海たんぽぽの会は、16人で活動しています。

そして毎月必ず行っている青海地区での活動は、特別養護老人ホームでのおむつたたみと車イスみがき、利用者さんの使う小物作りと、2～3ヵ月に一度施設訪問と簡単な奉仕活動です。

もうひとつは、地域活動支援センターあけぼのさんでのカレンダー作りや小物作りのお手伝いを毎月行っています。

また、赤十字奉仕団として防災訓練を行い、年末には消防の方をお願いしての救急法の講習会で一年間の行事を終えています。

毎年参加しているボランティアフェスティバルでは、今年はボランティアさんが食べるカレー作りの担当になりました。200食分作るということで、事前に野菜の切り方

や手順を教わり、会員全員で協力し無事においしくできあがりしました。

毎月の活動の施設訪問は笑顔で参加し、訪問の前には、何をすれば喜んでもらえるかと歌や踊りの練習をして、笑顔で見てくれるのを楽しみに訪問させていただいています。

会員の団結力があり、リーダーとしては助けられています。そして、これからも健康で、できる限り奉仕活動に参加していこうと思っています。



### 編集後記

辞書には、「ボランティアとは自発的にある活動に無報酬で参加する」とありました。それが大きなことであれ小さなことであれ、参加すると自分の喜びとなり、それを人様におすそ

分けできる。また一生懸命活動されている方々に頭が下がります。糸魚川にはたくさんのボランティアサークル、グループがあります。是非一緒に参加しませんか？

広報部 伊藤